

□議員名：高松秀樹

1 スマート自治体を前提とした行政サービスの質の向上と行政運営の効率化のためのICTの活用について

論点	少子高齢化社会に対応した住民サービスを維持するためのICTの活用を推進すべきと考えるがいかがか。
回答	将来にわたって、市民サービスを提供し続けるためには、政策立案や職員でなければできない業務に注力できる環境をつくる必要がある。この課題を解決するため、スマート自治体の実現に向けて、有効な手段であるICTの活用等は、今後、本市にとっても前向きに検討していく。

論点	行政サービスの質の向上と行政運営の効率化のためのICT化の具体的方策は何か。
回答	議会事務局にAI、人工知能を取り入れた議事録作成システムを導入し、業務の効率化を図っている。このほか、行政運営の効率化のためRPAやAI-OCRの導入について、検討を進めている。また、スマートフォンアプリを活用した公金収納や効果的な情報発信なども研究していく。

2 公共調達における市内業者優先と情報公開について

論点	令和元年度上半期、備品購入費の随意契約の総支出額、また市内業者、市外業者への発注率及び支出額はいくらか
回答	全部で310件あり、総支出額は、3028万6414円。このうち、市内、市外別の発注件数及び発注率は、市内が242件、78.1%、市外が68件、21.9%。また、支出額及び割合は、市内が2269万5875円、74.9%、市外が759万539円、25.1%。

論点	本市の中小企業振興基本条例第4条の基本方針として、「中小企業の受注機会及び販路の拡大を支援すること」とあるが。この中小企業者の定義は何か。
回答	「中小企業法第2条第1項各号いずれかに該当するもので、市内に事務所または事業所を有するものをいう」という規定になっている。

論点	今後どの様にして随意契約における市内業者優先を徹底していくのか。
回答	随意契約は、地方自治法施行令第167条において、一般競争入札の例外規定として定められている。そうした内容をちゃんと職員に周知徹底する中で、市内業者を優先的にというようなことで、ガイドラインのような形のものは整備をしていきたい。